

参議院議員

森屋隆NEWS

もりや たかし

No.20

●連絡先 ●立憲民主党参議院比例第4総支部
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1211
Tel: 03-6550-1211 fax: 03-6551-1211
URL: <http://moriyatakasashi.com>
E-mail: takashimoriya@sangin.go.jp

立憲民主

立憲民主党参議院比例第4総支部
RIKSEI
MINSHU 号外

2022.2.10

今こそ適正運賃の実現を！

コロナから職場を守りたい この想いにつながる政策を

二月一日、「私鉄総連二三春闘・交通政策要求
実現中央行動」が行われました。コロナ禍の中
中央行動も三年目、悲鳴のような要請内容です。

参加者の皆さんの想いは「コロナから職場を

何とか守りたい」につきます。森屋隆は「この思
いに応えた光の見える回答をお願いしたい。中
長期の視点から交通運輸産業の再興につなが
る政策を」と訴えました。



もう一つの大きな関心が運賃改定です。各事
業者の申請に積極的な対応をはかること、運賃
原価の算出にあたっては格差が固定化されな
いよう全産業平均賃金を基準とすることなど
が要請されました。国交省の回答は「適正運賃
は、事業者からの申請で、法令に基づき審査し
ている」というもの。エッセンシャルワーカー
といわれながら、交通労働者の処遇は「二割低
い賃金で二割の長時間労働」。適正運賃が実現
しなければ変わりません。

適正運賃の実現が 要員確保と長時間労働是正のカギ

バス分科会で森屋隆は、国交省に対し「どう
して運賃があがらないのか、その原因は何か」
とまっすぐ質問しました。国交省の懸念は値上
げ時に乗客が戻ってこないのでは、というもの
ですが、多くの事業者は赤字解消のため運賃値
上げに前向きです。政府にはしっかり取り組む
よう強く求めました。

二月三日のバス専協研修会でも、参加した組合員の方々から現場で起きている様々な問題を直接うかがいました。国会の合間をぬって現場を視察し、何ができるか考えていきたいと思えます。



私鉄総連第3回拡大中央委員会

コロナ禍での開催ということもあり、参加者が絞られての開催でしたが、皆さんの熱意は例年と変わらない熱気で溢れていました。木村敬一



中央執行委員長は、挨拶の中でコロナ禍における苦しいときこそ一致団結が必要と強く話されていました。森屋隆も、コロナ禍においての社会の分断、格差の拡大がますます広がっています。

くことの懸念、それをみんなで支えあうことの大切さを訴え、今年の夏に行われる参議院選挙に向け、みんなで団結し共に清く美しく活動していこうと決意を表明しました。(二月二日)

交運労協緊急要請で国交省へ

日本経済を止めないために 交通運輸へ直接支援を

昨年来、燃料価格の高騰が続きます。もはや事業者の自助努力の限界を超えており、労働条件の切り下げや雇用の危機が始まっています。

森屋隆は交運労協の三役らと、燃油費高騰問題や新型コロナウイルス対策について国交省に

要請。「交通運輸は、人間の労働力に頼る業務の割合が多い労働集約型産業。今は働く



超党派・タクシー政策議連の事務局長に

タクシー業界はいまだ厳しい状況にあり、資金繰り支援を九一%の事業者が、雇用調整助成金を八一%の事業者が活用している状況です(国交省調査より)。そんな中、森屋隆が野党の超党派「タクシー政策議員連盟」の事務局長に。百名を超える国会議員が参加し、労働組合と事業者が連携してライドシェアなどに反対するなど、活発に動いてきた議連です。移動の安全・安心・安定を提供できる政策で、人々の命と暮らしを守るために、森屋隆は専門性とネットワークを活かしてたたかいます。



人が、がまんを重ねている状況で、家族の負担も限界に近づいている。このまま人流・物流の離職者が増えていけば、日本経済にも大きな影響があるのは間違いない」と強く訴えました。現在、国の間接的な支援はありますが、政権が「人への投資」をつたう以上、思い切った直接支援が必要です。一刻も早い政策転換を求めたいきます。(一月二七日)